

(/)

下段は、基準値を記入すること。

道路詳細設計調書（その2）

(/)

舗	舗装の種類		交通区分		設計 C B R		主要 数量	盛土量		切土量		のり面積		切土		
	舗装構成		路盤の種類		上層			舗装面積	車道		横断函梁数		箇所		延長	盛土
					下層		歩道		トンネル							
	装	連断層 凍上抑制層の有無		自歩道の舗装		排水工		降雨強度		断面 決定 概要		備考欄				
路面 隣地		流出係数														
主要流末概念図																
線 形 概 要	測点															
	縦断	勾配														
		線形	距離													
	平面線形															

下段は、基準値を記入すること

業 務 名	
施 設 名	
路 線 名	
所 在 地	
距 離 標	自 km 至 km
事 務 所 名	
受 注 者 名	
管理技術者名	
照査技術者名	
設 計 年 月 日	平成 年 月 日

基 本 構 造	用 途 区 分	道路・水路・その他（ ）			適 用 基 準 等
	構 造 形 式	一連ボックス・二連ボックス			
	製 品 区 分	工場製品・場所打ち			
	標 準 設 計	無 ・ 有	標準設計図No.		
	内 空	一連・（二連左）	（二連右）		
	寸 法	幅	m	m	
		高さ	m	m	
	総 延 長	L = m	分 割 数	n =	
	斜 角	左口 °	右口 °		
基 礎 工	縦 断 勾 配	i = %	すべり止め	有 ・ 無	
	設計土被り	H _D = m	単 位 重 量	= N/m ³	
	水 位	H _w = m	内 部 土 砂	H _s = m	
	形 式	直接・置換・杭*	杭種・杭径		
支 持 地 盤	土 質		N 値	N =	
	単 位 重 量	= N/m ³	内部摩擦角	= °	
	粘 着 力	C = N/m ²	許容支持力	Q = N	
使 用 材 料	コンクリート	設計基準強度 c _k = N/mm ²			
	鉄 筋	SD295・SD345			

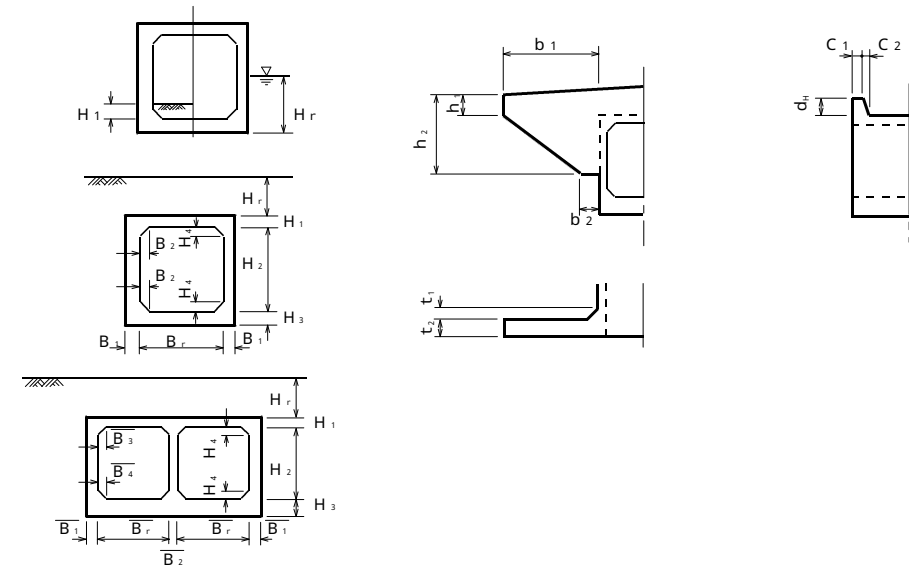
道示Ⅰ-1～2（適用基準短縮名-記載頁）で表示する。

- 36 -

ボックスカルバート詳細設計調書（その２）

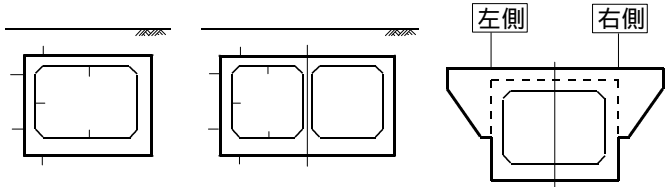
３．形状寸法データ

本体	H _r		m		B _r		m					
	H ₁		m		B ₁		m					
	H ₂		m		B ₂		m					
	H ₃		m		B ₃		m					
	H ₄		m		B ₄		m					
ウイング	左口左側			左口右側			右口左側			右口右側		
	b ₁		m		b ₁		m		b ₁		m	
	b ₂		m		b ₂		m		b ₂		m	
	h ₁		m		h ₁		m		h ₁		m	
	h ₂		m		h ₂		m		h ₂		m	
	t ₁		m		t ₁		m		t ₁		m	
	t ₂		m		t ₂		m		t ₂		m	
土留壁	左口左側			左口右側			右口左側			右口右側		
	c ₁		m		c ₁		m		c ₁		m	
	c ₂		m		c ₂		m		c ₂		m	
	d _H		m		d _H		m		d _H		m	



ボックスカルバート詳細設計調書（その3）

4．部材応力度

概 要 図			寸 法 図						設 計 位 置 図			
												
部 材			頂 版		側 壁		底 版		ウ イ ン グ			
設 計 位 置									左口左側	左口右側	右口左側	右口右側
断 面 図												
断 面 力	M	Nm/m										
	N	N/m										
	S	N/m										
鉄 筋 量	必 要	cm ²										
	最 小	cm ²										
	設 計	cm ²										
	鉄 筋 径	mm										
	間 隔	mm										
応 力 度	設 計 値	c	N/mm ²									
		s	N/mm ²									
		o	N/mm ²									
	許 容 値	ca	N/mm ²									
		sa	N/mm ²									
		oa	N/mm ²									
設 計 計 算 書 ・ 頁												
設 計 図 ・ 番 号												

ボックスカルバート詳細設計調書（その４）

モーメント図	鉄筋組合せ図	鋼材のかぶり図

擁壁工詳細設計調書（その１）

1. 一般事項

業 務 名	
施 設 名	
路 線 名	一般国道 号
所 在 地	
距 離 標	自 km 至 km
事 務 所 名	
受 注 者 名	
管理技術者名	
照査技術者名	
設 計 年 月 日	平成 年 月 日

3. 土砂データ

項 目	単 位	裏 込 土 砂	支 持 地 盤	一 般 土 砂
単 位 重 量 ()	N/m ³			
粘 着 力 (C)	N/m ²			
せん断抵抗角 ()	度			
変 形 係 数 (E _o)	N/m ²			
変形係数算出方法	-			
一軸圧縮強度 (q _u)	kN/m ²			

2. 構造条件

擁 壁 形 式	適 用 基 準 等			
設 置 区 分	背面盛土・背面切土・橋梁等取付・その他 ()			
製 品 区 分	工場製品・場所打ち			
標 準 設 計	無・有	標準設計図		
基 礎 形 式	直接・置換・杭*	杭種・杭径		
盛 土 高 さ	H _o = m	法 面 勾 配	N =	
	上載分布荷重 P = N/m ²			
浮力考慮位置	H _w = m	突 起	無・有	
コクリート強度	c _k = N/mm ²			
鉄 筋 材 質	SD295・SD345			
設計水平震度	地域別補正係数	レ ₁ =	地盤別補正係数	レ ₂ =
	K _h = レ ₁ ・ レ ₂ ・ 0.15=			
地 盤 種 別	土	質	層 厚	平均N値
	第 1 層			
	第 2 層			
	第 3 層			
	第 4 層			
液 状 化 判 定	有・無			

注：適用基準等欄の記載例

道示Ⅰ - 1 ~ 2 (適用基準短縮名 - 記載頁) で表示する。

注：*は杭基礎設計調書を参照のこと。

擁壁工詳細設計調書（その２）

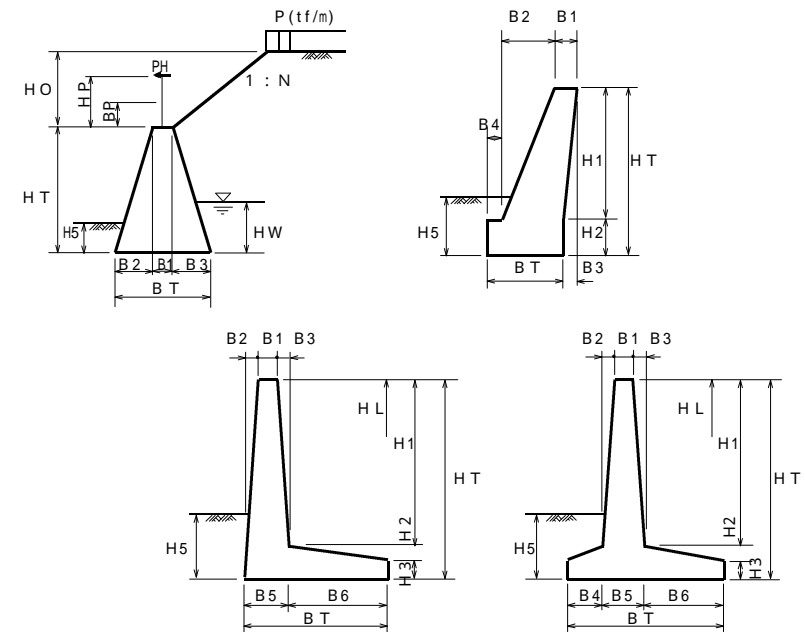
４．形状寸法データ

擁壁延長	TL =	m	前面土砂高	HS =	m		
防護柵作用荷重	PH =	tf/m	作用位置	HP =	m、BP =	m	
断面 (大側)	HT	H1	H2	H3			
	m	m	m	m			
	BT	B1	B2	B3	B4	B5	B6
	m	m	m	m	m	m	m
断面 (小側)	HT	H1	H2	H3			
	m	m	m	m			
	BT	B1	B2	B3	B4	B5	B6
	m	m	m	m	m	m	m

５．安定計算結果

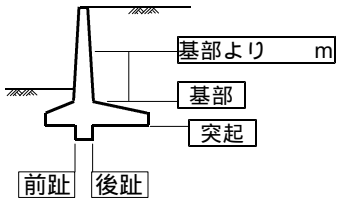
直接基礎安定計算結果総括表							
ケ	ス	常時			地震時		
浮	力	有	無	許容値	有	無	許容値
偏	心量(c) (m)			B/6=			B/3=
滑	動安全率			1.5			1.2
最	大地盤反力度(N/m ²)						
鉛	直支持力(Q) (N/m)						

杭基礎安定計算結果総括表							
ケ	ス	常時			地震時		
浮	力	有	無	許容値	有	無	許容値
杭頭	押込 (N/本)						
反力	引抜 (N/本)						
水	平変位 (mm)						



擁壁工詳細設計調書（その3）

6. 部材応力度

概 要 図			寸 法 図						設 計 位 置 図					
														
部 材			壁						フ ー チ ン グ				突 起	
設 計 位 置			基 部		基部より m		基部より m		前 趾		後 趾			
荷 重 状 態			常 時	地 震 時	常 時	地 震 時	常 時	地 震 時	常 時	地 震 時	常 時	地 震 時	常 時	地 震 時
断 面 図														
断 面 力	M	Nm/m												
	N	N/m												
	S	N/m												
鉄 筋 量	必 要	cm ²												
	最 小	cm ²												
	設 計	cm ²												
	鉄 筋 径	mm												
	間 隔	mm												
	か ぶり	mm												
応 力 度	設 計 値	c	N/mm ²											
		s	N/mm ²											
		o	N/mm ²											
	許 容 値	ca	N/mm ²											
		sa	N/mm ²											
		oa	N/mm ²											
設 計 計 算 書 ・ 頁														
設 計 図 ・ 番 号														

擁壁工詳細設計調書（その４）

モーメント図	鉄筋組合せ図	鋼材のかぶり図

基礎工詳細設計調書（その１）

（ / ）

１．一般事項

業 務 名		事 務 所 名	
施 設 名		受 注 者 名	
路線・河川名		照査・管理技術者名	
所 在 地		作 成 年 月 日	平 成 年 月 日
距 離 標	k m	左 右 岸 の 別	

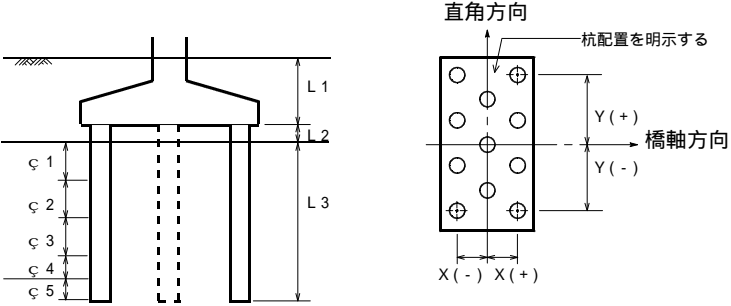
２．基本事項

杭 群 へ の 作 用 力	M	N	H	施工偏心 M	適 用 基 準 等
	N・m	N	N	N・m	
基 礎 工 形 態	基 礎 形 式	径（または短辺×長辺）		基 礎 長	
		m × m		m	
	頭 部 処 理	施 工 方 法		先 端 処 理	
	底版の根入深さ	突 出 長		有 効 根 入 長	
	L1= m	L2= m		L3= m	
地 層 区 分	l1= m	l2= m		l3= m	
	N1=	N2=		N3=	
	l4= m	支 持 層 地 盤		l5= m	
	N4=			N5=	
基 本 デ ー タ	鉄 筋 材 質	コンクリート強度		杭 材 質	腐 食 代
		ck= N/mm ²			mm
	杭頭平均N値	変 形 係 数	パネ	(常) KH= N/m ³ KV= N/m	
		Eo= N/mm ²	定数	(地) KH= N/m ³ KV= N/m	
		許容支持力（押込）	許容支持力（引抜）	許容支持力（水平）	変 位
安	(常)				
定	(地)				

３．基礎工配置データ

軸 方 向 杭 配 置 デ ー タ	距 離 (X)	奥行方向の本数
	m	本
1	m	本
2	m	本
3	m	本
4	m	本
5	m	本
6	m	本
7	m	本
8	m	本
9	m	本
10	m	本

軸 直 角 方 向 杭 配 置 デ ー タ	距 離 (Y)	奥行方向の本数
	m	本
1	m	本
2	m	本
3	m	本
4	m	本
5	m	本
6	m	本
7	m	本
8	m	本
9	m	本
10	m	本

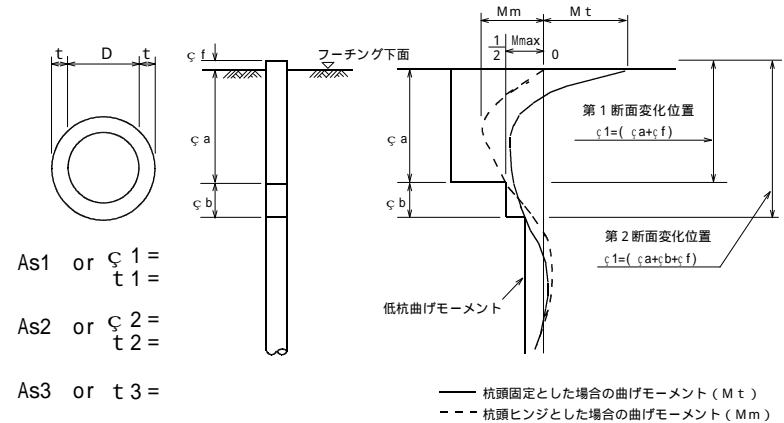


杭配置図を記載する。

注：適用基準等、欄の記載例
道示Ⅰ- 1 ～ 2（適用基準短縮名 - 記載頁）で表示する。

計 算 ケ ー ス 名					単 位	常 時		地 震 時		備 考	
安定 計算 及び 杭 の 計 算 結 果	杭頭外力	偏 心 量			c	m					設計計算書
		全 鉛 直 力			V	N					P
		全 水 平 力			H	N/mm ²					設計図番号
		偏心モーメント				N・m					/
	反力 変位 発生	杭頭変位量	水平変位		x	mm					設計計算書
			鉛直変位		y	mm					P
		水平力	1本あたり			N					設計図番号
			杭反力	前例 P Nmax			N / 本				
		後例 P Nmin			N / 本						
		杭生力	最大曲げ モーメント	杭頭部		M t	N m				
	地中部			M m	N m					設計図番号 /	
	杭体 応力	鉄筋又は 板厚	Nmax	C	N/mm ²						設計計算書
				S	N/mm ²						P
			Nmin	C	N/mm ²						設計図番号
				S	N/mm ²						/
	許容支持力			鉛直支持力		N / 本					設計計算書P
				引 抜 力		N / 本					設計図番号 /
		許容応力度			圧縮応力度		N/mm ²				設計計算書P
引張応力度					N/mm ²					設計図番号 /	
杭頭部 計算 結果	垂直支圧応力度	発 生 値		N/mm ²						設計計算書P	
		許 容 値		N/mm ²						設計図番号 /	
	押抜き せん断応力度	発 生 値		N/mm ²						設計計算書P	
		許 容 値		N/mm ²						設計図番号 /	
	引抜き せん断応力度	発 生 値		N/mm ²						設計計算書P	
		許 容 値		N/mm ²						設計図番号 /	
	水平支圧応力度	発 生 値		N/mm ²						設計計算書P	
		許 容 値		N/mm ²						設計図番号 /	
	水平方向押抜き せん断応力度	発 生 値		N/mm ²						設計計算書P	
		許 容 値		N/mm ²						設計図番号 /	

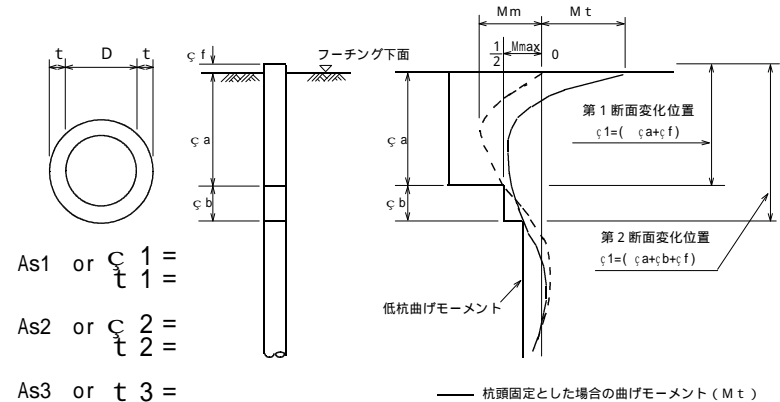
計 算 ケ ー ス 名			単 位	常 時		地 震 時		備 考	
仮 想 RC 断 面	発 生 値	使用鉄筋量	cm ²					設計計算書 P 設計図番号 /	
		圧縮応力度	N/mm ²						
		引張応力度	N/mm ²						
	許 容 値	せん断応力度	N/mm ²					/	
		圧縮応力度	N/mm ²					設計計算書 P 設計図番号 /	
		引張応力度	N/mm ²					設計図番号 /	
	ケ ー ソ ン 基 礎	水 平 方 向	使用鉄筋量	cm ²					設計計算書 P 設計図番号 /
			圧縮応力度	N/mm ²					
			引張応力度	N/mm ²					
			せん断応力度	N/mm ²					
	ソ ン 基 礎	縦 方 向	使用鉄筋量	cm ²					設計計算書 P 設計図番号 /
			圧縮応力度	N/mm ²					
引張応力度			N/mm ²						
せん断応力度			N/mm ²						
許 容 値		圧縮応力度	N/mm ²					設計計算書 P 設計図番号 /	
		引張応力度	N/mm ²					設計図番号 /	
		せん断応力度	N/mm ²						



基 礎 工 詳 細 設 計 調 書 (そ の 3)

計 算 ケ ー ス 名			単 位	常 時		地 震 時		備 考
安 定 外 力 計 算 及 び 杭 の 計 算 結 果	杭 頭	偏 心 量	c	m				設計計算書
		全 鉛 直 力	V	N				P
		全 水 平 力	H	N/mm ²				設計図番号
		偏心モーメント		N・m				/
	反 力	杭頭変位量	水平変位	x	mm			設計計算書
			鉛直変位	y	mm			P
		水平力	1本あたり	N				設計図番号
		杭反力	前例	P Nmax	N / 本			/
	杭 生 力	最大 曲 げ	杭頭部	M t	N / m			設計計算書P
		モーメント	地中部	M m	N / m			設計図番号 /
	杭 体 応 力	鉄筋又は板厚	Nmax	C	N/mm ²			設計計算書
				S	N/mm ²			P
			Nmin	C	N/mm ²			設計図番号
				S	N/mm ²			/
杭 頭 部 計 算 結 果	許容支持力	鉛直支持力		N / 本				設計計算書P
		引 抜 力		N / 本				設計図番号 /
	許容応力度	圧縮応力度		N/mm ²				設計計算書P
		引張応力度		N/mm ²				設計図番号 /
	垂直支圧応力度	発 生 値		N/mm ²				設計計算書P
		許 容 値		N/mm ²				設計図番号 /
	押抜きせん断応力度	発 生 値		N/mm ²				設計計算書P
		許 容 値		N/mm ²				設計図番号 /
	引抜きせん断応力度	発 生 値		N/mm ²				設計計算書P
		許 容 値		N/mm ²				設計図番号 /
	水平支圧応力度	発 生 値		N/mm ²				設計計算書P
		許 容 値		N/mm ²				設計図番号 /
	水平方向押抜きせん断応力度	発 生 値		N/mm ²				設計計算書P
		許 容 値		N/mm ²				設計図番号 /

計 算 ケ ー ス 名			単 位	常 時		地 震 時		備 考
仮 想 生 産 値 断 面 容 積 水 平 方 向 縦 向 基 礎	使用鉄筋量	cm ²						設計計算書
		圧縮応力度	N/mm ²					P
		引張応力度	N/mm ²					設計図番号
		せん断応力度	N/mm ²					/
	許 容 値	圧縮応力度	N/mm ²					設計計算書
		引張応力度	N/mm ²					P
		せん断応力度	N/mm ²					設計図番号 /
	水 平 方 向	使用鉄筋量	cm ²					設計計算書
		圧縮応力度	N/mm ²					P
		引張応力度	N/mm ²					設計図番号
		せん断応力度	N/mm ²					/
	縦 向 基 礎	使用鉄筋量	cm ²					設計計算書
		圧縮応力度	N/mm ²					P
		引張応力度	N/mm ²					設計図番号
		せん断応力度	N/mm ²					/
許 容 値	圧縮応力度	N/mm ²						設計計算書
		引張応力度	N/mm ²					P
		せん断応力度	N/mm ²					設計図番号 /
		せん断応力度	N/mm ²					/



平面交差点詳細設計調書（その１）

1. 計画概要

業 務 名						
所 在 地						
事 務 所 名						
受 注 者 名	(照査・管理技術者名)					
作成年月日	平成 年 月 日					
事 業 区 分	点 (交差点) ・ 線 (道路) ・ 面 (地域) の改良 ・ 新設 (印)					
全 体 計 画	km		今回計画 (内数)		km	
事 業 計 画	事業着手 年 月 ~ 年 月 用地買収期間 (予定) 年 月 ~ 年 月 工事着手 (予定) 年 月 ~ 年 月 工事了完了 (予定) 年 月 ~ 年 月 供用開始 (予定) 年 月 ~ 年 月					
道 路 名	主道路					
	主道路					
	従道路					
	従道路					
道 路 の 構造・規格	主従 の別	道 路 区 分	設 計 速 度 (km/h)	最 急 縦 断 勾配 (%)	最 小 曲 線 半径 (m)	標準横断面 構成 (m)
	主	種 級	-----	-----	-----	全幅 m
	主	種 級	-----	-----	-----	全幅 m
	従	種 級	-----	-----	-----	全幅 m
	従	種 級	-----	-----	-----	全幅 m
標準横断面図						
主						
従						

下段は適用基準等、発行年月日と適合ページを記入する。

2. 交差点計画

交 差 点 名	通称・番号・記号等									
交 差 点 部 設 計 画	交差点制御方法（ 信号制御 ・ 一時停止 ）									
	主 従の別	設計車両 （ 印 ）	交差点付近 の設計速度	交差点付近横断 勾配・区間距離		曲線半径 （ m ）		交差角度		
	主	小 型 車 普 通 車 セミトレ	-----	-----		-----		-		
	従		-----	-----		-----		度		
	右 左 折 車 通 行 方 法				導流路曲線半径 (m)			導流路幅員 (m)		
主	方面から	右折		外側 内側						
		左折		外側 内側						
	方面から	右折		外側 内側						
		左折		外側 内側						
従	方面から	右折		外側 内側						
		左折		外側 内側						
	方面から	右折		外側 内側						
		左折		外側 内側						
交 通 量	主				従					
・ 現 況 ・ 予 測 ・ 車種別 ・ 方向別 ・ 歩行者 ・ 特異交通流等										
付 加 車 線 設 置 計 画	主				従					
	計 画 有 ・ 無 （ 印 ） 右折 ・ 左折車線 （ 印 ） 付加車線 （ 折 ） の必要性				計 画 有 ・ 無 （ 印 ） 右折 ・ 左折車線 （ 印 ） 付加車線 （ 折 ） の必要性					
	（ 有 ・ 無 ）				（ 有 ・ 無 ）					
	滞留長 m テーパ長（減速車線長） m				滞留長 m テーパ長（減速車線長） m					
	付 加 車 線 幅 員 m 本線シフト区間長 m				付 加 車 線 幅 員 m 本線シフト区間長 m					

平面交差点詳細設計調書（その２）

(/)

３．道路管理者所管の交通安全施設等の計画

視線誘導標	(有・無) (交差点部 ・ 計画区間全線)
道路照明	(有・無) (交差点部 ・ 計画区間全線)
防護柵	(有・無) (交差点部 ・ 計画区間全線)
歩道	(有・無) (歩車道境界 ・ 路外境界線) (両側 ・ 片側) (歩車道境界ブロックの高さ cm) (マウント・アップ ・ フラット)
	・ 計画区間内のバス停留所の有無 (有・無) ・ 交差点付近のバス停留所の有無 (有・無) ・ バス停留所の有無 (有・無) ・ 必要性の有無 (有・無) ・ バス停留所の位置の適否 (交差点 流出側 ・ 流入側) (見通し 良 ・ 不良)
通学路	通学路の指定 (有・無) 将来の可能性 (有・無)
その他	

注：道路照明、バス停、通学路の位置等は、図面上に正確に図示すること。

４．交通規制計画

線の規制	主	現 況	事業後
	従	現 況	事業後
点の規制	主	現 況	事業後
	従	現 況	事業後
信号機	交 差 点 名 概 設 信 号 機 信 号 運 用 状 況	(有 ・ 無) 三 色 (時間 ~) 点 灯 (時間 ~) 減 灯 (時間 ~) 移設，増灯の必要性 新 設 の 必 要 性	(有 ・ 無) (有 ・ 無) (有 ・ 無) (有 ・ 無)
横断歩道・ 自転車横断帯			
その他			

５．事業計画上の問題点及び今後の調整事項